



第2号

「めぐみちゃんの まちづくりだより」

～ 市民と農家の宝もの けやきの里のめぐみです ～

西東京市では、農業者と市民が相互理解を深め、都市の農業・農地が持つ多面的な機能を発揮させることにより、農地の保全を図っていくことを目的に、「都市と農業が共生するまちづくり事業」を進めています。事業の一環として、平成24年4月に北町に『農のアカデミー体験実習農園』が開設されました。

事業の
ねらい

援農ボランティアさんたちにとっては、
農を知り、農を学び、農を楽しむ
子どもたちにとっては、
農を楽しみ、農に親しむ

事業の
効果

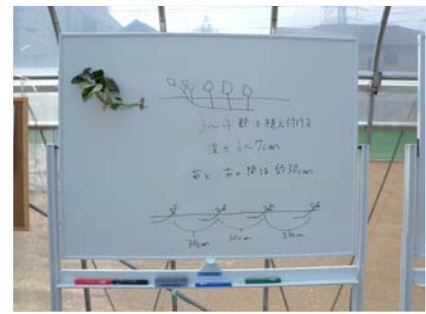
農の生涯学習を
目指しています。

農のアカデミー体験実習農園とは

農のアカデミー体験実習農園の面積は約1,700㎡で、今年度は5名の指導農家と9名の援農ボランティアの方々の協力によって運営されています。指導農家の方々は、日々の農園での作業を丁寧に援農ボランティアさんへ指導しています。作業前と作業後にはミーティングを行い、日常的な管理運営等について意見交換もしています。援農ボランティア用の区画では農業技術を学ぶために、季節毎の作付計画に沿って野菜を育てています。また、参加団体区画の管理や農業指導も行っています。



ミーティングの様子



サツマイモの苗定植の説明



作業風景

4月～7月の主な活動

4月～7月は下記の作業を行いました。

- 種まき（枝豆、トウモロコシ、ミニ大根、ハウレン草、ネギ）
- 苗の定植（キャベツ、ブロッコリー、リーフレタス、サツマイモ、ネギ、果菜類）
- 除草
- 支柱立て
- 追肥
- 間引き
- 収穫
- 生育観察



子ども達への指導



夏の大収穫祭記念撮影

